

2014・広大マスタースズ市民講座報告

「はじめてのドイツ語」

岡崎 忠弘

ドイツ語初心者は、辞書を引いても当該の単語を探し当てられないと嘆く。語形変化した動詞や名詞を辞書の見出し語へ戻すには、どのような手順が必要か、また、名詞に男性・女性・中性の区別があり、これが代名詞の受け方と密接に関わっていることを、英語と比較しつつ、説明した。ドイツ語独特の「枠構造」まで行きつけずに、時間切れとなった。

短い期間にドイツ語文を辞書で検索できるところまで習得するには、文法の知識は必須であり、暗記すべきことは九九みたいに暗唱すべきある、そうすれば、一見複雑に見えるドイツ語の文法現象も解きほぐしやすく、むしろ解明の手掛かりが多くなる、と強調した。

受講者の中から、一人でも、この講座が契機となって、NHKの語学講座を聴き、やがてはインターネットの Deutsche Welle の外国人向けドイツ語初級講座まで辿り着く人が出ればいいかと、受講者のやる気を刺激した。マスタースズの市民講座に実質を盛り、お飾りの文化教室に墮するのを防ぐには、限られた時間の中では、受講者の情熱に点火するのが最良、と見た。



「はじめてのドイツ語」でのスナップ（原野昇撮影）